

作成日 2019/06/07

改訂日 2022/04/05

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Adhesamine solution
製品コード P12410-AA11829
整理番号 P1241011482-3
供給者の会社名称 ナガセケムテックス株式会社
住所 兵庫県たつの市龍野町中井236
担当部門 機能化学品事業部(P12410)
電話番号 0791-63-9085
FAX番号 0791-63-4565
緊急連絡電話番号 0791-62-0862

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
物理化学的危険性 引火性液体 区分に該当しない
健康有害性 急性毒性（経口） 区分に該当しない
急性毒性（経皮） 区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気） 区分に該当しない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） 区分に該当しない
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）か分類できない。
GHSラベル要素 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
Adhesamine	0.01~10%	—	登録なし	—	462605-73-8
水	≥90%	—	—	—	7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合 呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
医師の手当、診断を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 泡消火剤、二酸化炭素、ハロゲン化物消火剤、粉末消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤 情報なし
特有の消火方法 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

<p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置</p>	<p>漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 風上に留まる。 作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 低地から離れる。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。</p>
<p>環境に対する注意事項</p>	<p>環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。</p>
<p>封じ込め及び浄化の方法及び機材</p>	<p>漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。 床面は十分に水洗する。水洗の際には必要に応じ中和する。</p>
<p>二次災害の防止策</p>	<p>すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。</p>

7. 取扱い及び保管上の注意

<p>取扱い</p>	
<p>技術的対策</p>	<p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p>
<p>安全取扱注意事項</p>	<p>周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼、皮膚又は衣類に付けないこと。 ミスト、蒸気、スプレー、粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 飲み込まないこと。</p>
<p>接触回避 衛生対策</p>	<p>『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。</p>
<p>保管</p>	<p>消防法、毒劇法等適用法令の定めるところに従う。</p>
<p>安全な保管条件</p>	<p>『10. 安定性及び反応性』を参照。 直射日光、高温多湿な場所を避ける。 換気のよい場所で密封保管する。 冷所(指定保管温度がある場合はその温度)及び暗所にて保管する。</p>
<p>安全な容器包装材料</p>	<p>消防法、毒劇法、国連輸送法規等適用法令の定めるところに従う。 包装形態のまま、保管する。他の容器に移さないこと。</p>

8. ばく露防止及び保護措置

<p>設備対策</p>	<p>本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。 取扱いについては適切な換気装置を設置した場所で行う。</p>
<p>保護具</p>	
<p>呼吸用保護具</p>	<p>適切な呼吸器保護具を着用すること。</p>
<p>手の保護具</p>	<p>保護手袋を着用すること。 保護手袋は不浸透性のものを用いること。</p>
<p>眼、顔面の保護具</p>	<p>眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）</p>
<p>皮膚及び身体の保護具</p>	<p>適切な保護衣を着用すること。 必要に応じ不浸透性の保護衣（前掛け、ゴム長靴など）を用いること。</p>

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
形状	液状
色	無色
臭い	ほぼ無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界	データなし
引火点	引火せず
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性・反応性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	高温の物体、火花、裸火、静電気火花。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼 刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく 露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく 露）	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	データなし
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、又は都道府県知事などの許可を受け
-------	----------------------------------

汚染容器及び包装

た産業廃棄物処理業者に委託処理する。
 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
 焼却する場合は、粉塵や飛沫が飛散しないように注意して少量ずつ行う。
 汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並び
 に地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 該当しない
 UN No. 該当しない
 Liquid Substance Not applicable

Transported in Bulk
 According to MARPOL
 73/78, Annex II, the IBC
 Code

航空規制情報 該当しない
 UN No. 該当しない

国内規制

陸上規制 消防法、毒劇法、道路法など適用法令にて定めるところに従う。

海上規制情報 該当しない

国連番号 該当しない

MARPOL 73/78 附属書II 及

びIBC コードによるばら積
 み輸送される液体物質

航空規制情報 該当しない

国連番号 該当しない

特別の安全対策

容器に漏れや破損等のないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないよう
 に積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避けること。

15. 適用法令

労働安全衛生法 非該当
 毒物及び劇物取締法 非該当
 化学物質排出把握管理促進法（非該当
 P R T R法）
 消防法 非危険物

16. その他の情報

【本SDSにおける判定対象法規】

化審法、毒物及び劇物取締法、化学物質排出把握管理促進法、労働安全衛生法、消防法、水道法、オゾン層保護法、農薬取締法、港則法、水質汚濁防止法、特定廃棄物輸出入規制法、下水道法、悪臭防止法、麻薬及び向精神薬取締法、航空法、船舶安全法、廃掃法、道路法、大気汚染防止法、労働基準法、じん肺法、建築基準法、土壌汚染対策法、化学兵器禁止法、ダイオキシン類対策法、高圧ガス保安法、覚せい剤取締法、海洋汚染防止法、火薬類取締法

連絡先 『1. 化学品及び会社情報』の項に記載。

参考文献 本SDSは、日本ケミカルデータベース社の提供する「SDS作成支援システム GHSLogist」により作成しており、主要な情報は当システム内のデータに基づいています。

《その他の情報源》

- ・ 化学物質総合情報提供システム (CHRIP) : 製品評価技術基盤機構 (NITE)
- ・ 職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
- ・ ezADVANCE : 日本ケミカルデータベース (株)
- ・ ChemWatch online ChemGold

その他

- ・ 原料メーカーSDS

本資料は、作成日又は改訂日における知見に基づき作成しておりますが、記載のデータや危険有害性の評価に関して保証するものではありません。又、法令の改正や新たな知見により改訂を行う場合があります。ご購入頂いた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを前提としています。記載の注意事項は通常取扱を対象としたものであって、特別な取扱をする場合は状況に適した安全対策を実施の上、十分な注意を払う必要があります。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定されますようお願い申し上げます。